

## (2) 企画展

### 津島佑子展 いのちの声をさかのぼる

期間 平成29年9月23日（土・祝）～11月23日（水・祝） 59日間

趣旨 2016年2月18日に逝去した作家・津島佑子の初の展覧会。

作家・太宰治の次女として1947年に生まれ、大学在学中より小説を発表。結婚、出産、離婚、息子の死、母子家庭や障害を持ち夭折した兄のことなど、自身の体験をもとに女性の立場から内面世界に迫る作品を創出した。「火の山―山猿記」では、母・美知子の実家・石原家をモデルに、甲州を舞台とする三代にわたる一族の人々と時代を壮大なスケールで描き、1998年に谷崎潤一郎賞、野間文芸賞を受賞する。その後も、少数民族や原発問題へと視野を広げ、重厚な作品世界を展開、多数の作品が海外で翻訳されている。本展では、津島佑子の生涯と、「火の山―山猿記」を中心とする作品世界を顕彰する。



**関連イベント** ※新刊品取扱、絵巻物、展覧会、資料展示、有期限貸出サービス、貸出期間延長サービス、貸出期間延長サービス、貸出期間延長サービス

<b>「津島佑子『火の山―山猿記』の世界」</b> 11月12日（日） ■午後1時30分～3時 ■観覧費 観覧無料 ■講師 竹下 雅子（作家） ■対談 井村 清（文芸評論家） 石原 徹（津島佑子の実家）	<b>「津島文学の魅力」</b> 10月14日（土） 佐上 弘（作家、日本近代文学館理事長） ■午後1時30分～3時 ■観覧費 観覧無料 ■対談 井村 清（文芸評論家） ■午後1時30分～3時 ■観覧費 観覧無料
<b>「津島佑子作品の場をめぐる」</b> 10月1日（日） 中野 司子（国文学研究館） ■午後1時30分～3時 ■観覧費 観覧無料	<b>「津島佑子の世界」</b> 9月22日（金）～11月23日（水・祝） ■観覧費 観覧無料 ■対談 佐上 弘（作家） ■午後1時30分～3時 ■観覧費 観覧無料

**山梨県立文学館**  
Yamanashi Prefectural Museum of Literature  
〒400-8063 山梨県 甲府市 1-4-53  
TEL:055-253-8000 FAX:055-253-9022  
http://www.yamagakukan.pref.yamanashi.jp/

編集委員 坂上弘（作家・日本近代文学館理事長） 堀江敏幸（作家・早稲田大学教授）

- 展示構成
- I 場所の記憶
  - II 根を求めて 「火の山―山猿記」
  - III 時空を越えて 歴史の声、旅のことは

### (3) 特 設 展

#### ① 特設展「歿後五十年 山本周五郎展」

期 間 平成29年4月29日（土）～6月18日（日）

趣 旨 「樅ノ木は残った」「赤ひげ診療譚」など、人間への暖かい眼差しと洞察力で今も多くの読者の支持を得ている小説家・山本周五郎（1903～1967）は山梨県大月市初狩町の出身。代表作「青べか物語」や絶筆「おごそかな渴き」の原稿、友人に宛てた長文の手紙、映画化された作品「椿三十郎」「さぶ」のポスター等約80点の資料で周五郎の63年の生涯と作品の魅力を紹介する。

### 展 示 資 料 一 覧

#### I 生い立ち

清水伊三郎戸籍謄本

清水三十六戸籍謄本

「扇状地」第10号、第12号 1968（昭和43）年3月、1970（昭和45）年3月

「硯」第37号 2000（平成12）年6月

木村久邇典『素顔の山本周五郎』1982（昭和57）年6月 新潮社

「山本周五郎ノート」（21）～（23）1969（昭和44）年1～3月

清水逸太郎婚姻御届（写）1901（明治34）年 個人蔵

清水三十六出生届（写）1903（明治36）年 個人蔵

清水とく、三十六の退去届（写）1906（明治39）年7月 個人蔵

清水とく、三十六の転寄留届（写）1906（明治39）年7月 個人蔵

「鶴声」1965（昭和40）年1月 個人蔵

奥脇愛五郎「明治四十年八月水害史」1907（明治40）年9月 個人蔵

清水さく死亡御届（写）1908（明治41）年2月23日 個人蔵

大水害の直後の寒場沢（写真）1907（明治40）年8月 個人蔵

『明和絵暦』1941（昭和16）年12月 奥川書房

『夜明けの辻』1941（昭和16）年10月 博文館

『戦国少年記』1942（昭和17）年3月 鶴書房

『山彦乙女』1952（昭和27）年2月 朝日新聞社

「山彦乙女」新聞切り抜き「朝日新聞」夕刊1951（昭和26）年6月18日～9月30日掲載

山本周五郎 土岐雄三宛葉書 1951（昭和26）年3月21日 神奈川近代文学館蔵

山本周五郎 土岐雄三宛葉書 1951（昭和26）年7月6日消印 神奈川近代文学館蔵

山本周五郎 土岐雄三宛葉書 1951（昭和26）年7月か8月6日消印 神奈川近代文学館蔵

臨時増刊「小説と読物」1954（昭和29）年8月

「文藝春秋」4年4号 1926（大正15）年4月

「演劇新潮」1年3号 1926（大正15）年6月

「キング」1936（昭和11）年8月

「キング」1940（昭和15）年11月

「少年少女譚海」別冊読本 1930（昭和5）年8月

「新少年」別冊付録 1935年（昭和10）年11月

「静春想」句稿

「五月の野辺」詩稿

「酔漢とその細君」草稿

「或る男女の話」草稿

「逍遙」草稿

「新少年」別冊付録 1935年（昭和10）年11月

「静春想」句稿

「五月の野辺」詩稿

「酔漢とその細君」草稿  
「或る男女の話」草稿  
「逍遙」草稿  
「空蟬」草稿  
「其の頃の彼」草稿  
「染血桜田門外」草稿  
「天の出来事」草稿  
「寂しさ」ほか詩稿  
「曼陀羅言」草稿  
「夏草戦記」原稿  
『夏草戦記』1945（昭和20）年3月 八雲書店  
山本周五郎 土岐雄三宛葉書 1951（昭和26）年3月日不明 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 佐藤俊雄宛書簡 年月日不明  
山本周五郎 土岐雄三宛葉書 1949（昭和24）年11月2日消印 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 秋山青磁宛書簡 1962（昭和37）年11月22日消印 個人蔵  
「文藝春秋」第21巻第9号 1943（昭和18）年9月  
『日本婦道記』1943（昭和18）年8月 大日本雄弁会講談社  
『小説 続日本婦道記』1947（昭和22）年7月 操書房  
『小説・続婦道記 糸ぐるま』1947（昭和22）年6月 民衆社  
「多忙」原稿  
山本周五郎 今井達夫宛書簡 1946（昭和21）年4月15日 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 今井達夫宛葉書 1946（昭和21）年3月15日 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 土岐雄三宛書簡 1949（昭和24）年11月1日消印 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 土岐雄三宛葉書 1950（昭和25）年4月11日消印 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 土岐雄三宛書簡 1951（昭和26）年4月5日消印 神奈川近代文学館蔵  
「週刊朝日」陽春読物号 1949（昭和24）年1・2月号 神奈川近代文学館蔵  
妻きんに贈った書「わが人生の…」 神奈川近代文学館蔵  
「おごそかな渴き」原稿  
「おごそかな渴き」第8回新聞切り抜き「朝日新聞」日曜版  
周五郎の愛用した品々 湯飲み茶碗・お椀・ご飯茶碗・布巾 個人蔵  
周五郎愛用の万年筆、名刺 個人蔵  
齋藤博子『間門園日記 山本周五郎ご夫妻とともに』2010（平成22）年10月 深夜叢書社  
周五郎のヴァン 中央葡萄酒株式会社

## II 作品の世界

「原田甲斐ー続樅ノ木は残った」原稿 神奈川近代文学館蔵  
「原田甲斐ー樅ノ木は残った」新聞切り抜き 神奈川近代文学館蔵  
佐多芳郎画「原田甲斐ー続樅ノ木は残った」挿絵原画 神奈川近代文学館蔵  
『樅ノ木は残った』上・下 1958（昭和33）年1月、9月 講談社  
『樅ノ木は残った』全 1969（昭和44）年8月 講談社  
映画「赤ひげ」台本 東宝 1963（昭和38）年  
映画「赤ひげ」ポスター 東宝 1965（昭和40）年  
映画「赤ひげ」パンフレット 日比谷スカラ座  
「駈け込み訴え」原稿  
『赤ひげ診療譚』1959（昭和34）年2月 文藝春秋新社  
映画「五瓣の椿」ポスター 松竹 1964（昭和39）年  
「やぶからし」原稿  
「おさん」原稿  
映画「どですかでん」ポスター 東宝 1970（昭和45）年  
「季節のない街」（「運転手は多忙一」）草稿

「季節のない街」（「番地のない街 運転手は怒る（一）」）草稿  
「季節のない街」新聞切り抜き「朝日新聞」夕刊  
『季節のない街』1962（昭和37）年12月25日 文藝春秋新社  
映画「さぶ」ポスター 日活 1964（昭和39）年  
映画「さぶ」パンフレット 1964（昭和39）年3月 日活 脚本 山田信夫 監督 野村孝  
『さぶ』1963（昭和38）年8月10日 新潮社  
帝国劇場開場披露・二代目中村吉右衛門襲名披露歌舞伎公演パンフレット 個人蔵  
「さぶ」リーフレット 2003（平成15）年1月2日～27日 新橋演舞場  
「サンケイ新聞」切り抜き 1969（昭和44）年3月15日  
『ながい坂』上・下 1966（昭和41）年2・3月 新潮社  
「わが野鳥たち」原稿  
「虚空遍歴」原稿 神奈川近代文学館蔵  
『虚空遍歴』上・下 1963（昭和38）年2、3月 新潮社  
「青べか物語」（「毒をのむと苦しい」）原稿  
『青べか物語』1961（昭和36）年1月 文芸春秋新社 装幀 佐野繁次郎  
映画「青べか物語」台本 東宝 1962（昭和37）年  
べか舟の模型  
「しづみ河岸」原稿 神奈川近代文学館蔵  
「オール読物」1954（昭和29）年11月 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 今井達夫宛葉書 1946（昭和21）年3月25日 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 今井達夫宛書簡 1946（昭和21）年3月8日 封書3枚 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 今井達夫宛葉書 1946（昭和21）（推定）年5月不明 神奈川近代文学館蔵  
山本周五郎 土岐雄三宛葉書 1950（昭和25）年2月4日 神奈川近代文学館蔵



## ② 特設展「作家のデビュー展」

期 間 平成29年7月15日（土）～8月27日（日）

趣 旨 山梨にゆかりの深い作家のデビューの頃の作品の魅力や、デビューした頃の作家の思いを、館蔵資料を中心に紹介。樋口一葉、芥川龍之介、太宰治をはじめとする近代文学の作家の初期の原稿や手紙などの直筆資料、雑誌、初版本などを展示。また、林真理子、保坂和志、神永学、辻村深月など現在活躍中の山梨県出身の作家たちの初期の作品もご覧いただける。展示期間中は、漫画やアニメで人気の「文豪ストレイドッグス」とのコラボレーション企画も開催する。

## 展 示 資 料 一 覧

### I 近代の作家 デビューの頃

#### 樋口一葉

- 一葉筆 手習い帖「伊勢物語」1887（明治20）年
- 一葉筆 手習い帖「竹取物語」1889（明治22）年頃
- 一葉旧蔵書 北村季吟『湖月抄』延宝3年刊
- 「闇桜」未定稿〈複製〉原本 台東区立一葉記念館
- 「武蔵野」第1編 1892（明治25）年3月23日 今古堂
- 「武蔵野」第2編〈復刻版〉1892（明治25）年4月17日 今古堂
- 「武蔵野」第3編〈復刻版〉1892（明治25）年7月23日 今古堂
- 一葉が写した「九雲夢」の写本
- 樋口一葉 半井桃水宛書簡下書き 1892（明治25）年秋

#### 芥川龍之介

- 「羅生門」執筆時の関連ノート 1・3・6・9
- 「羅生門」草稿1
- 「交野五郎」草稿1
- 「帝国文学」〈復刻版〉1915（大正4）年11月号
- 「Defence for “Rasho-mon”（羅生門への弁明）」
- 『羅生門』1917（大正6）年5月 阿蘭陀書房 菊池寛宛献辞入り
- 久米正雄宛『羅生門』出版記念会招待状
- 「我輩も犬である」『碧潮』第3号掲載 1908（明治41）年2月28日
- 第四次「新思潮」創刊号 1916（大正5）年2月
- 第四次「新思潮」第2年第2号 1917（大正6）年3月
- 『鼻』1920（大正9）年5月5版（初版1918（大正7）年7月）春陽堂

#### 太宰治

- 「細胞文芸」創刊号 1928（昭和3）年5月
- 「海豹」創刊号 1933（昭和8）年3月
- 「鶴」第1輯 1934（昭和9）年4月
- 「鶴」第2輯 1934（昭和9）年7月
- 「青い花」創刊号 1934（昭和9）年12月
- 「陰火」原稿
- 太宰治 浅見淵宛葉書 1935（昭和10）年12月12日消印
- 太宰治 浅見淵宛葉書 1936（昭和11）年3月2日消印
- 太宰治 浅見淵宛葉書 1936（昭和11）年3月24日消印
- 太宰治 浅見淵宛葉書 1936（昭和11）年4月7日消印

『晩年』1936（昭和11）年6月 砂子屋書房  
太宰治 井伏鱒二宛書簡 1936（昭和11）年9月15日消印

## 中村星湖

「早稲田文学」第16号 1907（明治40）年4月  
「少年行」原稿  
「少年行」冒頭一句 軸装  
「早稲田文学」第18号 1907（明治40）年5月  
『少年行』1907（明治40）年5月 金尾文淵堂  
「文章世界」1916（大正5）年3月  
『少年行』を書いた頃」「長篇小説」1937（昭和12）年7月（星湖旧蔵スクラップより）

## 谷崎潤一郎

第二次「新思潮」第3号〈復刻〉1910（明治43）年11月  
「三田文学」11月号 1911（明治44）年11月  
『刺青』1911（明治44）年12月 靑山書店

## 村岡花子

L.M.モンゴメリ作 村岡花子訳『赤毛のアン』1952（昭和27）年5月 三笠書房  
安中花子『爐邊』1917（大正6）年12月 日本基督教興文協会  
村岡花子 前田晁宛書簡 1927（昭和2）年1月6日  
村岡花子 前田晁宛書簡 1927（昭和2）年2月2日

## 宮沢賢治

宮沢賢治 保阪嘉内宛葉書 1917（大正6）年4月2日消印  
宮沢賢治 保阪嘉内宛葉書 1917（大正6）年7月29日消印  
遙峰『アザリアの咲いた本 宮沢賢治と学友達の愉快的な青春模様』2015（平成27）年9月  
遙峰 盛岡高等農林学校前にて クリアファイル  
遙峰 アザリアと仲間たち クリアファイル

## 深沢七郎

「楢山節考」草稿  
「楢山節考」原稿  
桃原青二（深沢七郎）太田孝宛葉書 1956（昭和31）年10月5日  
深沢七郎 川久保正郎宛葉書 1956（昭和31）年10月9日  
深沢七郎 小林富司夫宛葉書 1956（昭和31）年10月16日  
「中央公論」第71年第12号 1956（昭和31）年11月  
『楢山節考』1957（昭和32）年2月 中央公論社  
「深沢七郎『楢山節考』出版記念会」リーフレット 1957（昭和32）年2月25日  
映画「楢山節考」パンフレット

## II 現代の作家 デビューの頃

### 林真理子

『ルンルンを買っておうちに帰ろう』1982（昭和57）年11月 主婦の友社  
『星影のステラ』1985（昭和60）年2月 角川書店  
「葡萄が目にしみる」草稿  
『葡萄が目にしみる』1984（昭和59）年11月 角川書店



『野生時代特別編集 林真理子スペシャル ルンルンだけじゃ、ものたりなくて』1984（昭和59）年8月  
角川書店  
「オール讀物」第39巻第7号 1984（昭和59）年7月  
『最終便に間に合えば』1985（昭和60）年11月 文藝春秋  
『最終便に間に合えば』署名本 1986（昭和61）年3月5刷（初版1985年11月）文藝春秋  
雑誌「an・an」などのエッセイに使用した自筆のイラスト

## 保坂和志

「プレーンソング」浄書原稿  
「群像」第45巻第5号 1990（平成2）年5月  
『プレーンソング』1990（平成2）年9月 講談社  
「新潮」第92巻第3号 1995（平成7）年3月  
『この人の闘』1995（平成7）年8月 新潮社  
「この人の闘」色紙 個人蔵  
『カンバセーション・ピース』2003（平成15）年9月3刷（初版2003年7月）新潮社  
「カンバセーション・ピース」色紙 個人蔵  
『猫の散歩道』署名本 2011（平成23）年2月 中央公論新社

## 神永学

「怪盗探偵八雲 赤い瞳は知っている」浄書原稿  
『心霊探偵八雲 赤い瞳は知っている』2004（平成16）年10月 文芸社  
『心霊探偵八雲1 赤い瞳は知っている』2008（平成20）年7月5版（初版2008年3月）KADOKAWA  
『心霊探偵八雲1 赤い瞳は知っている』署名本 2014年（平成26）年11月25版（初版2008年3月）  
KADOKAWA  
神永学原作 小田すずか作画『心霊探偵八雲 第1巻』2009年（平成21）年10月 角川書店  
舞台版「心霊探偵八雲 裁きの塔」パンフレット  
『山猫』2006（平成18）年8月 文芸社  
『怪盗探偵 山猫』2010（平成22）年2月 KADOKAWA  
『確率捜査官 御子柴岳人 密室ゲーム』2011（平成23）年8月 角川書店  
『殺生伝 疾風の少年』2013（平成25）年6月 幻冬舎

## 辻村深月

「冷たい校舎の時は止まる」浄書原稿  
『冷たい校舎の時は止まる』（上）（中）（下）講談社ノベルズ 2004（平成16）年6月7月・8月 講談社  
『冷たい校舎の時は止まる』（上）（下）講談社ノベルズ 上・2016年3月31刷 下・2015年12月27刷  
（ともに初版2007年8月）講談社  
『ロードムービー』講談社ノベルズ 2010（平成22）年9月 講談社  
『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。』署名本 2009年（平成21）年9月 講談社 個人蔵  
『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。』2009（平成21）年12月4刷（初版2009年9月）講談社  
「オール讀物」第64巻第10号 2009（平成21）年10月  
『鍵のない夢を見る』2012（平成24）年5月 文藝春秋  
『鍵のない夢を見る』署名本 2012（平成24）年5月 文藝春秋 個人蔵  
『ツナグ』2016（平成28）年6月23刷（初版2012年9月）新潮社



文豪ストレイドッグス  
山梨県立文学館  
コラボレーション企画  
（くしくし美術館とご協力です）

特設展

# 作家のデビュー展



樋口二葉

芥川龍之介



太宰治



林真理子  
保坂和志  
神永学  
辻村深月

中村星湖  
谷崎潤一郎  
村岡花子  
宮沢賢治  
深沢七郎  
ほか

2017年  
7月15日(土)  
→8月27日(日)  
山梨県立文学館  
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

山梨県ゆかりの作家のデビューの期について、直筆資料を中心に紹介します。





### ③新収蔵品展 ブンガク玉手箱 太宰治・田中冬二・辻邦生・野尻抱影・山本周五郎ほか

期 間 平成30年1月20日（土）～3月21日（水・祝）

趣 旨 平成29年に新たに収蔵した資料を中心に展示。

また、第25回やまなし文学賞小説部門入賞作が新聞掲載された際の挿絵原画をあわせて展示する。

#### 展 示 資 料 一 覧

山本周五郎「あとがき」原稿

山本周五郎『小説の効用』1962（昭和37）年9月 中央大学出版部

太宰治 高田英之助宛書簡 1938（昭和13）年11月26日消印

太宰治 高田英之助宛葉書 1939（昭和14）年1月4日消印

太宰治 高田英之助宛書簡 1939（昭和14）年2月4日消印

太宰治 高田英之助宛葉書 1939（昭和14）年2月8日消印

太宰治 高田英之助宛葉書 1939（昭和14）年4月21日消印

津島美知子 早川徳治宛葉書 1953（昭和28）年5月13日

津島美知子 早川徳治宛葉書 1953（昭和28）年11月11日

井伏鱒二訳『ドリトル先生航海記』1952（昭和27）年2月 大日本雄弁会講談社

与謝野晶子「曇らば海に上総の山あらん晴れても見えじかの亡き人は」軸装

有島生馬「暗雨蕭々蘭玉摧 犬吼雞啼破夢来 五更驚起傷心慘 明朝殘珠樹耐哀」軸装

島崎藤村「はせをのことば」卷子

千葉浩志撮影 田中冬二肖像写真パネル 1971（昭和46）年11月7日

田中冬二「雪の日」額装

田中冬二「秋の匂い」色紙額装

堀口大學 田中冬二宛書簡 1943（昭和18）年2月21日

堀口大學 田中冬二宛書簡 年不明11月10日

田中冬二『椽の黄葉』1943（昭和18）年1月 白井書房

一瀬稔「麦の秋」額装

一瀬稔「晩夏」額装

一瀬稔「菜園頌」額装

一瀬稔『山鶏』1940（昭和15）年10月 中部文学社

一瀬稔『草の栖』1949（昭和24）年10月 甲陽書房

一瀬稔『忘れ得ぬ人びと』1986（昭和61）年11月 甲陽書房

香川香南「松静鶴留聲」額装

『峡中詞藻 文章篇』1930（昭和5）年3月 土屋夏五郎

中村星湖編『香南先生の生涯』1961（昭和36）年10月 詩碑建設委員会

鈴木三重吉 前田晁宛書簡 1913（大正2）年5月5日

「文章世界」創刊号 1906（明治39）年3月

林 麟「神経症 —自分で癒さなければ癒らぬ病氣—」原稿

「中央公論」第68年第6号 1953（昭和28）年6月

辻邦生 渡辺一夫宛書簡 1973（昭和48）年（推定）1月26日

辻邦生 篠田一士宛葉書 1973（昭和48）年1月18日消印

辻邦生 篠田一士宛葉書 1974（昭和49）年2月3日

辻邦生『背教者ユリアヌス』1972（昭和47）年10月 中央公論社

辻邦生『祝典喜劇 ポセイドン仮面祭』1973（昭和48）年12月 新潮社

劇団四季公演「祝典喜劇 ポセイドン仮面祭」パンフレット

田中冬二 愛用の品々（眼鏡・ペーパーナイフ・ベレー帽・表札）

田中冬二 愛用の品々（文箱・朱肉・硯・筆・墨）

田中冬二「八十八夜」色紙

田中冬二「春」色紙

田中冬二『晴耕雨読』折帖  
 井上多喜三郎「薫風や湖畔の宿のひじまくら」田中冬二「鷺といふ宿の灯暗く花あやめ」色紙  
 富田通雄画・田中冬二「あかるい水荘の屋窓のヒヤシンスの花 女は眼を病んでゐる」色紙  
 尾崎喜八「秩父やま雲立ちわきてみなつきの水の音涼し君といゆかむ」短冊  
 尾崎喜八「みすゞかる信濃の国のたかはらに人立てる見ゆ呼ぶとやすらむ」短冊  
 野尻抱影 宮崎健三宛書簡 1944（昭和19）年10月2日  
 野尻抱影「銀河けふる」原稿  
 寺田重雄「佐久のコイ」原稿  
 寺田重雄「お水神さん」原稿  
 寺田重雄『甲州魚風土記』1980（昭和55）年12月 芸文社  
 深沢七郎 大正15年度成績通知票  
 「新潮」第58巻第12号 1961（昭和36）年12月  
 安岡章太郎「井伏文学の洗脳力」原稿  
 『井伏鱒二全集』第10巻「月報6」1965（昭和40）年2月 筑摩書房  
 尾崎一雄「木枯」原稿  
 『群島』1970（昭和45）年7月 永田書房  
 富安風生「しづかなる起居の塵や冬ざしき」色紙  
 能村登四郎「紅い日の出の風の荷着けり岬の店」短冊  
 稲畑汀子「花屑として八重なるもならざるも」色紙  
 松村蒼石「あぢさゐは初花のうすいろにこそ」短冊  
 松村蒼石「手にとりて思はぬかろさ初団扇」色紙  
 角田雪弥「水の上に闇乱れずに二月ゆく」短冊  
 辻露村「藻の花に幼なき思ひ泛べけり」色紙  
 大山ちこ『エンディングノート』2017（平成29）年6月 山梨日日新聞社  
 横瀬信子画「エンディングノート」挿絵原画  
 宇野さおり画「菓子折り」挿絵原画  
 針生卓治画「まいべえら」挿絵原画



新収蔵品展  
企画 宮崎健三・辻 邦生・野尻抱影・山本周五郎  
**ブンガク玉手箱**  
貴重な原稿や手紙など新介に収めた資料約70点を展示します。

太宰 治  
 甲府からの手紙

大月市出身  
 山本周五郎の原稿

「冥王星」の名付け親  
 野尻抱影の原稿

観覧無料

平成30年1月20日(土)  
 — 3月21日(水・祝) —

山梨県立文学館  
Yamanashi Prefectural Museum of Literature